

第2回部活動部会 会議要旨

とき 令和元年11月21日(木)

ところ 北方南小学校 校長室

※会議の主な内容は以下のとおり

司会者：定刻になったので、第2回部活動部会を開始する旨を告げる。

(19:00 開始)

事務局：資料をもとに、部活動部会として今後協議すべき内容について説明する。

司会者：前回の協議で課題となっていた点を中心に協議を進めることとする。

(主な協議内容)

○令和5年度の部活の新チームについて、次の3つのパターンが考えられる。

①北方中学校で1つだったチームを開校時に南北に分ける。

②開校前の段階から南北のチームに分けて練習する。

③開校後すくなくとも2年間は合同チームとして一緒に活動する。

○ある程度部活の方針を決めて進まないと保護者・生徒の理解を得られないと思う。

⇒チーム編成は令和3年度の新入生から影響する。そのため、令和2年12月の中学校入学説明会で方針を説明できないといけない。

○原則として、合同チームは2校どちらかの選手が不足する場合は編成できません。ただし、ある程度の事情は酌んでもらえるようです。

⇒③のパターンはその時の部員数に影響される訳ですが、人数に依らず開校時の特別な事情を説明することで合同チームでの活動を認めてもらうこともできそうです。

○開校直後は同じ部活で活動していた仲間同士という意識が強いと思うが、その後は基本的には別の学校の生徒となるので、必ずしも合同チームに拘らなくてもよいのでは。

⇒南北で学校の規模が違うので、いずれは学校の裁量の中で生徒数に応じた部活編成を行っていくことになると思う。

⇒一般的に、1000人規模の学校と500人規模の学校では部活の種類も違う。敷地や施設上の問題もあるが、5年、10年先まで北学園と南学園が全く同じ部活編成であることは考えられない。

○中学校が分かれる場合の部活のあり方について、参考になるような他校事例はないか。

⇒生徒数が急増した場合に中学校が分かれることはあるが、今回の義務教育学校への再編という理由での事例は参考例がないです。

○どのパターンにするかはその時の当事者の意向に配慮すべきだと思う。部会としては、①～③3つのパターンどれでも行けそうという確認に留めるべきではないか。

⇒その時の生徒や保護者の意向には配慮すべきですが、部活ごとに対応がバラバラになってしまっては收拾がつかない。学校全体の方針として対応を決めなくてはならない。

⇒今後の部会の協議において、学校(校長)として決めるべき事項と部会として考えるべき事項という点を念頭におき、整理して考えていかなければならないと思う。

※開校時(令和5年度)の部活の新チームの取り扱いについては、令和4年度中に生徒や保護者の意見を参考に学校としての取り扱いを決める方針とする。

※子どもたちの心情に配慮するため、開校後2年間はその時点で北中に存在する部活を北学園、南学園どちらにも設置することとし、その後はそれぞれの学校の実情に応じて取り扱う方針とする。

○同じ部活が南北それぞれにできることになると、指導者をどうするかが問題になる。

⇒単に人数の確保だけではなく、指導者の質とかその時の生徒や保護者との関係性も考慮に入れなくてはならない。具体的には北学園のコーチの方がいいからそちらに行きたいとか、そんな問題が出てくる可能性がある。

⇒指導者のすそ野を広げるという意味でも、南北のコーチ同士がよく連携していないといけない。地域の人材とか経験のある保護者に指導してもらうなど、指導者の確保について情報共有しながら進めていくべき。

⇒年に一度は南北の指導者が一堂に会する機会を設けて意見交換する場を設けるとよいと思う。技術的な情報提供だけではなく、普段から交流があれば双方の指導者の行き来もしやすいと思う。「町全体での指導体制」と考えて協力していくべきだ。

○体協やスポ推など、社会体育の団体から指導者を出してもらったりできないか。

⇒社会体育の団体は加入者の高齢化が進んでおり、新規加入者があまりいないなど世代間ギャップが大きいようだ。羽島のように総合型スポーツクラブの組織がしっかりしているところは、指導体制の面でも優れている。

○今後、協議を深めていくために、今の部活の人数でいいので南北2校に分かれた場合に部員が何人になり、それぞれの練習場所がどうなるかということや、指導者がどのように分かれるのかなどをシュミレーションした資料を作成してほしい。

○資料の中で、部会の協議スケジュールについて、②部活の指導体制と③部活動の施設等に関する協議の順番は入れ替えた方がよいと思う。

⇒④社会体育との関係については、学園開校までにすべて決めてしまうのは難しい。よりよい方策を模索しながら開校後も継続審議したほうがよいと思う。

○北方学園では小学生も部活に参加させるならその方法も考えなくてはならない。

⇒今でも小6の2月に部活の体験参加事業があり、好評である。この制度をベースに考えられないか。

⇒北中では4~5月は仮入部期間となっていて、実質活動していない。小学校から参加できるならこの期間も必要なくなり、4月当初から活動できる。

部会長：2回目の協議は以上とする。次回の部会は1月16日(木)夜7時からとする。

(21:00 終了)